

ぎなん

7月
(3)岐南中学校教育目標
自ら動く

【負けて学ぶ暑い夏】

中体連が始まりました。いろんなことが学べます。サッカーのW杯も始まっており、日本代表は決勝T1回戦でブラジルに敗れました。W杯でブラジルと対等に戦えるようになるまでに、28年という長い時間と数々の悔しい『負け』の歴史がありました。『負け』から学んだからこそ、今の日本代表があります。

リーグ戦の戦い方について

中体連の羽島ブロック大会のバスケットボールも、予選リーグがありました。女子は初日に1勝1敗という成績で、3チームリーグの2位で2日目に駒を進めました。2日目の初戦は中島中学校で、羽島ブロックではダントツに強いチームでしたが、最後まで善戦したのですが、最終的には敗れてしまいました。

2日目の第2試合は羽島中学校でした。この試合で勝っても、地区大会へ進出することはできません。ですが…この試合も女子バスケ部は頑張りました。

翌日、私にこの試合がどんな試合だったかを話してくれた生徒がいました。その生徒は「先輩たちが格好よかったです」と話してくれました。

女子バスケ部については、春にも学校だよりに載せました。格上の相手にもひるまず、自分たちの力を精一杯発揮して挑む姿が素敵だったと書きました。今回も中島中学校という格上にもひるまず戦い、その試合に負けた後の、地区大会に進出することができないとわかっている相手にも、同じように全力を尽くそうとする姿に、私は心から拍手を送りたいと思っています。

敗れるということ…

女子バスケ部のような敗れ方ばかりではないでしょう。もしかすると、自分のもっている力を発揮すれば勝たはずのゲームを、何かがうまくいかずゲームを落としてしまった3年生もいるのではないのでしょうか。相手の勢いや立ち居振る舞いに、いつの間にかひるんでしまっていたり、どこかなめていて、相手の積極的な姿勢にのまれてしまったりして、自分の力を発揮しきれずに敗れた3年生もいるでしょう。

その時の自分の心と向き合うことができるのは、あなた自身です。

敗れて泣いている生徒の姿も見ました。悔しかったでしょうし、情けなさも感じたことでしょう。負けようと思って試合に臨む生徒はいません。出場する以上「勝ちたい」と思うものです。そう思わないと、本物の成長はありません。

全国のほとんどの中学生が敗れて終わっていきます。早く終わるか、後に終わるかの違いです。実はそんなに大きな違いはなく、どちらの経験であっても、あなたにとって貴重な経験になることを切に願っています。

それは、3年間一生懸命取り組んだ価値が、そこにあると思っているからです。

あなたを、これからも応援し続けていきます！この敗戦の悔しさを経て、次の一步をどう踏み出すか。それこそが、あなたが『自ら動く』本当のスタートです。

勝ち上がっているあなた・チームへ

地区大会、出場おめでとうございます。よく頑張りました。君たちが戦ったチームや相手も、3年間部活動として、あるいはクラブチームとして一生懸命練習してきた仲間です。その仲間をリスペクトする心をもてる人でいてください。その仲間の分まで全力を尽くすことでしか示すことはできません。そして、あなたを支えてくれている人がいることを忘れないで試合に臨んでほしいと願っています。

唯一延期となった野球部。担当があつて応援に行けないので、来週の結果報告を楽しみにしています！